

2022 Autumn



国土交通省 四国地方整備局
小松島港湾・空港整備事務所

Vol.56

あなめなと通信

暮らしを支える港湾と空港の話



TOPICS

大型船舶を
安全に誘導する
「海のパイロット」
へ特別取材！

港の“夏”の風物詩
クルーズ船「ぱしふいっく
びいなす」が寄港！

ごあいさつ

9月に入り日中の気温が少し下がったものの、まだまだ暑い日が続いておりますが、皆様いかがお過ごしですか。

今年は、四国地方の梅雨明けが6月末に発表され、梅雨の期間も15日間と平年の1/3程度の期間でありました。四国での6月中の梅雨明け発表は初めてのことであり、梅雨の期間も観測史上最短を更新したようです。梅雨明けが早かったため、6月末から厳しい暑さが長期間にわたり続いているので、早く涼しい秋が訪れることを願っているところです。

さて、今年もコロナ禍ではありましたが、一昨年、昨年に開催されなかった楽しいイベントが久しぶりに開催されました。小松島の夏といえば、みなと祭りの花火です。7月17日に開催された小松島みなと祭りの花火大会には、3年ぶりということもあってか、地元だけでなく小松島以外からも多くの方が訪れ、小松島ならではの火輪の花火に酔いしれました。

また、徳島の夏といえば阿波踊りですが、こちらも3年ぶりに屋外に敷席を設置し、盛大に開催されました。阿波踊りの開催に合わせて、豪華クルーズ客船の「ぱしふいっくびいなす」が徳島小松島港の沖洲岸壁に寄港しました。乗客の皆様にも徳島の夏の風物詩である阿波踊りを堪能してもらえたことと思います。

本号の表紙でも8月14日に寄港した「ぱしふいっくびいなす」を紹介させていただいております。

読者の皆様には、あわみなと通信を毎号ご愛読いただいておりますが、今まで以上にみなとのことを知っていただきたいという思いで、今号より紙面を一新し、より多くのみなとの情報を皆様にご提供することとしました。

みなとで働く方を紹介する「みなとの情熱人」という新コーナーもその一つです。トップバッテリーは、小松島水先区水先人会でパイロットとして活躍されている畑（はた）様に登場してもらい、パイロットの仕事での苦労話やエピソードなど色々聞かせていただきました。パイロットと言うと飛行機の操縦者を思い浮かべるかもしれませんが、元々は船の操縦を指揮する水先人を意味していたのです。船のパイロットである水先人の仕事について少し触れさせていただきます。水先人は、多数の船舶が行き交う港や複雑な水域において、それらの環境に精通することが困難な外航船や内航船の船長を補助し船舶を安全かつ効率的に導く専門家であり、入港または出港する船舶に乗船し、船長の助言者として船舶を安全かつ速やかに目的地まで導く仕事を行っているのです。先ほど紹介させていただいた「ぱしふいっくびいなす」も畑パイロットの水先案内で接岸ならびに離岸を行っております。

次号からもみなとで働く人たちにスポットをあててみなとを支える皆様を紹介していきたいと思っております。引き続きあわみなと通信をご愛読いただきますよう、よろしくお願い致します。

小松島港湾・空港整備事務所長 新見 泰之



高度な技術力をもった企業や技術者の方々が「国土交通行政関係功労者表彰」を受賞されました！

四国地方整備局では、令和3年度内に完了した工事並びに業務の中で特に優れた成績を収めた企業及びそれに携わった技術者を表彰しています。

当事務所の工事・業務関係で受賞された皆さまを下記にご紹介します。



受賞おめでとう
ございます

写真前列左側2番目から順に、兼子建設株式会社 吉崎 高市氏、吉村 信耶氏、株式会社エコー四国事務所 片山 昭氏、原 信彦氏

四国地方整備局長表彰

表彰区分	受賞企業・受賞者名	工事・業務名
優良工事	東亜建設工業株式会社 四国支店 様	令和2年度徳島小松島港 金磯地区岸壁（-11m） 改良工事
優秀建設技術者 （工事）	大塚 真太郎 様 （東亜建設工業株式会社 四国支店）	令和3年度徳島小松島港 本港地区岸壁（-9m） 改良工事
	三宅 宏芳 様 （兼子建設株式会社）	

小松島港湾・空港整備事務所長表彰

表彰区分	受賞企業・受賞者名	工事・業務名
優秀貢献工事	兼子建設株式会社 様	令和3年度徳島小松島港 本港地区岸壁（-9m） 改良工事
優良業務	株式会社エコー 四国事務所 様	令和2年度 徳島小松島港等整備効果 検討業務
優秀建設技術者 （業務）	原 信彦 様 （株式会社エコー 四国事務所 ※現在出向中）	
優良下請企業	兼子建設株式会社	令和2年度徳島小松島港 金磯地区岸壁（-11m） 改良工事
優秀下請技術者	吉村 信耶 様 （兼子建設株式会社）	

水先人の仕事内容や使命を教えてください。

港にやってくる外航船の船長などから要請を受け、沖で待つその船に乗り込み、まず船の性能など操船に必要な情報を船長から入手します。水先人は、浅瀬や風、潮流など港特有の自然条件や、他の船舶及び漁船の状況を把握しつつ、進路や速力などを船長に隣からアドバイスし、目的地である岸壁まで船を安全に導きます。

船には、車のようにブレーキがありません。その代わり、船のエンジンを逆回転、プロペラを反転させることにより速力を徐々に落としていき、安全に港内の目的地へと向かいます。特に大型船を岸壁へ接近させる際、風や潮流の影響を考慮しながら、船舶の前後位置や着岸姿勢の制御に全神経を集中し、注意深く操船することが求められます。併せて、小型ながら強力なエンジンを搭載する複数のタグボートと無線で連絡を取り合い、毎秒数センチメートルというゆっくりした速さにコントロールしながら、岸壁に着岸させます。

徳島には、紙の原料である木材チップや住宅建築に必要な原木を輸入する大型貨物船や、何千人といった観光客の方々を乗せた300m超の大型クルーズ船等がやって来ます。徳島で水先人を務めるには、クルーズ船のような大型船を案内するため、「一級水先人」の免許取得が必要です。

水先人がいなければ海上交通の秩序がなくなり、海難事故が多発するでしょう。水先人の存在により、秩序が守られ、事故発生が防止され、それが産業経済活動の安定化、海難事故による環境汚染の防止に寄与します。これが我々水先人の使命です。



全長200～330m近くの大きな船を熟練の技術で導きます



水先人の正確な操船をタグボートがサポートします

普段どのようなことに気を使っていますか？

とにかく「安全」が一番です。常に客観的な視点を、そして余裕を持った操船を心がけています。また、船長らに対して不安を与えないように「大丈夫ですよ」と声かけするなどの気配りを行っています。

また終わった後はぐったりと疲れるくらい、全神経を集中して操船します。画面越しにデータを見るのではなく、デッキの外に出て自分の目で船の動きを見ることが、最も確実に重要です。

水先人を務めることになった経緯ややりがい、これまで経験した貴重なエピソードなどを教えてください。

60歳で定年を迎えた際は、もう船を降りるつもりでした。ところが東京湾で活躍する二つ上の先輩から「まだ潮気を抜くのは早いよ。もう少し潮のにおいを楽しめ」と水先人の仕事を勧められ、小松島の水先人に応募し、採用されました。四国では、瀬戸内海には内海水先人が、徳島には私がここ小松島に常駐しています。小松島は私の出身地の近くでもあり、過去、お盆時期にたまたま家族旅行で訪れた際、ちょうど阿波おどりをやっているのとわかったのですが、浴衣も持っていなかったところ、宿泊した旅館の方が家族分の浴衣を貸してくれて、バス停へわざわざ案内までしてくれて、とても親切にいただきました。もともと仕事で来たこともありましたが、小松島にはそんな良い印象がありました。水先人として仕事をするなかで、自分が思い描いた通りに外航の大型船を操船できた時や、船長から「Thank You! Good Job! Excellent!」と感謝の言葉をもらったときは、とても達成感を感じますね。

また外航船の船員時代の話ですが、オーストラリアからイタリアに向かう道中でアフリカのケプタウン近くを航海中、「セントエルモの火(St.Elmo's fire)」を一度だけ経験しました。むし暑い雨上がりの夜、船のマスト(甲板上の柱)から静電気のように青いろうそくのような光が出ました。どこか物を触ると、そこからふわっと青く光る。これを経験した人はほとんどいないでしょう。それから定年間近の59歳のとき、アメリカとカナダの国境付近にあるファンデフカ海峡(Strait of Juan de Fuca)を夕暮れに航海中、船乗りが一生に一度見れるかどうかと言われる「グリーンフラッシュ」という現象を経験しました。日没で太陽が沈む最後の瞬間、水平線に緑色の線がヒュッと一瞬だけ走って光る現象で、天気が良く、雲も風もないときにしか見れません。どちらも本当にきれいでした。

誘導する船舶の分、たくさんの船員との出会いがありますが、コミュニケーションで意識していることはありますか？

船舶誘導といっても、対人間の仕事でもあります。外航船の船員はほとんどが外国の方で、基本的には英語で接しますが、彼らは意外とシャイなんです。ですから各国の挨拶言葉を使ってみたり、笑顔でフレンドリーに接することを心がけています。そうすることで心を開いてくれ、船舶誘導のために有益な情報をくれたりするんです。



船員さんとのコミュニケーションも欠かせません

港湾労働力不足といった課題も聞こえるなか、担い手確保について感じられている課題や取り組んでいることがあれば教えてください。

我々の仕事はまだまPR不足で、もっと一般の方々に仕事を知っていただく努力が必要です。日本水先人連合会ではパンフレットやYouTube「日本水先人連合会公式チャンネル」を開設するなどPRに努めています。

プライベートではどのような過ごし方をされていますか？

週3～4回、体調管理も兼ねてスイミングスクールに通っています。水先人にとって健康維持は非常に重要で、健康でなければ、大事な操船時に的確なアドバイスを与えられなくなってしまいます。

徳島の港の課題や良いところ、今後期待することを教えてください。

外洋に開けた徳島の港は、比較的自然条件がよく規制も少なく、大型船を受け入れやすい環境であり、徳島のみならず「四国の玄関口」としても、とても利便性の高い港です。

徳島小松島港には水深13mの大水深岸壁があります。これはどこにでもあるものではありません。橘港は湾内の水深も深く波風も穏やかであり、港としては素晴らしい環境です。これらを上手く活かした整備を行っていくべきではないでしょうか。これまでの船乗り経験で40数力国ほどの港を見てきました。日本と海外では考え方が異なりますが、イギリスのテムズ川の港などは徳島の参考になるかもしれません。あそこは狭いけども効率的に港がつくられており、発展できる余地を残した港になっています。自然環境との調和も大切ですが、時代の進歩や需要に応じた、港の更なる発展に期待したいですね。



日本水先人連合会では水先業務に関するパンフレットやYouTube動画などを作成しています。詳しくは同連合会HP(<https://www.pilot.or.jp/>)をご覧ください。

右記のQRコードからもアクセス可能です



「海のパイロット」 大型船舶を 安全に誘導する

みなの
情熱人



Profile

小松島水先区水先人会
畑 知博 会長

昭和24年2月26日生まれ、香川県丸亀市出身。学校卒業と同時に20歳で三等航海士として外航船乗船、44歳で船長となる。平成21年に海上生活40年を終えるが、その後は水先人の人生を歩む。平成27年より現職。好きな言葉は「覇気知祥」。趣味は水泳、プラモデル。



これまでクルーズ船や貨物船など様々な大型船舶を徳島の港に誘導してきました

みなと通信

Minato-Report

✪ 中学生の皆さんに港の大切さを学習していただきました！

5月12日、徳島小松島港を訪れた岡山市立御南中学校の皆さんに、港の大切さを学習していただきました。これは同校の修学旅行の一環で、生徒さんによる社会学習が目的です。

当日は、徳島・東京・北九州間を毎日運航して日本経済を支える長距離フェリー「オーシャン東九フェリー」の船内をフェリー会社の皆さんのご案内で見学した後、当所職員による座学で港の役割や重要性を学ぶことで、今まで知らなかった港の内側を知っていただきました。最後のご挨拶では、代表者の生徒さんから心温まるコメントをいただき、コロナ禍で心配もありましたが、無事に開催することが出来て本当に良かったとホッとしております。

今回のように、港湾やそこで働く人たちが普段の生活にとっていかに大切な役割を担っているかを知っていただくことは、港を整備する私たちの使命のひとつであり、今後も継続していくことを考えています。生徒の皆さん、またぜひ徳島へお越しください！



フェリーに乗船し、
広々とした船内やフェリーの特徴を体感しました！



これまで知らなかった港の役割などを
港で働くプロから直接学ぶことができました

✪ 徳島で3年ぶりに「リフレッシュ瀬戸内」が開催されました！

6月11日、小松島市の主催によりリフレッシュ瀬戸内 in 小松島が横須・金磯海岸で開催されました。「リフレッシュ瀬戸内」は、瀬戸内海沿岸部の自治体等で構成される「瀬戸内・海の路ネットワーク推進協議会」の取り組みで、毎年夏場に各地で海岸付近のごみ回収活動が実施されています。しかし、最近ではコロナ禍の影響もあって中止が続き、徳島県内及び小松島市では今回3年ぶりの開催となりました。当日は約1時間の活動ではありましたが、総勢1000人ものボランティアが参加し、地域の皆さんの自然環境保全への意識の高さを感じました。

海岸をきれいに保つことは、海へのゴミ流出を防いで船舶航行の安全性を確保することにも繋がるので、皆さんの生活にとっても大切な活動となります。来年以降も、引き続き各地で安全にリフレッシュ瀬戸内が開催できることを祈っています。



多くの皆さんが清掃活動に駆けつけました！

✪ イベントの夏、「みずき」一般公開の夏！！

今年の夏は小松島市でも様々なイベントが開催されました。それに併せて、当事務所としても、より皆様に海のお掃除船「みずき」を知っていただくため、6月19日と7月16日の2回、「みずき」一般公開を開催しました。

「ツナガルフェス in 小松島」に併せて開催した6月19日の一般公開では、梅雨時期にもかかわらずお天気に恵まれ、200名以上の方にご来場頂きました。お子さんのいるご家族だけでなく、ご夫婦やお友達同士での参加もあり、幅広い世代の方に興味を持って頂いたことをうれしく感じました。

楽しかったから、と2回参加してくれた男の子（しかも2回目はお友達を連れて！）、「みずき」のこと知らなかったけどいい勉強になったと記念撮影をして帰られたご夫婦、そういったイベントでしか聞くことのできない「生の声」は私たち職員の励みになります。

7月16日に開催した一般公開は、「小松島港まつり」の協賛行事として25年以上続いている恒例行事です。今年は「みずき」と海上保安庁の巡視船「びざん」の合同公開となり見応えのあるイベントとなりました。残念ながら途中で大粒の雨が降り出してしまい、時間を短縮しての開催となりましたが、短い時間だったにもかかわらずたくさんの方にご来場頂きました。

今回初めて実施したスタンプクイズラリーが好評で、クイズに正解してうれしそうに喜ぶお子さんの様子や、職員スタッフの解説に質問しながら聞いてくれるお父さんお母さんの様子など、親子で楽しんで頂けている姿が印象的でした。

今後も当事務所では、こういったイベントを通じて、皆様が楽しみながら海洋環境や港の大切さを学んで頂けるよう、取り組んで参ります。



おききなクレーンが迫力満点！！



お子さん達が楽しんで参加してくれました！

♪ 海洋環境整備船「みずき」、あすたむらんど徳島に登場！

あすたむらんど徳島において7/23～8/31に開催された企画展に、当事務所の海洋環境整備船「みずき」を出展しました。企画展ではラジコンボートでスーパーボールを回収するアトラクションがあり、多くのお子さんたちに海洋環境整備事業を体験していただきました。そのほか、当所から提供した「みずき模型」の展示や事業PR映像が上映されました。

開催期間中には合計15,770人の方々が訪れてくださったとのことで、安全な船舶航行や海洋環境を守っていくために、毎日のように外洋へ出動し頑張る人たちがいるということを広く知っていただくことができました。あすたむらんど徳島の皆さまには、今回このような企画展を開催していただき、大変感謝申し上げます。



ラジコンボートで浮遊ごみ回収を体験！(子ども科学館)

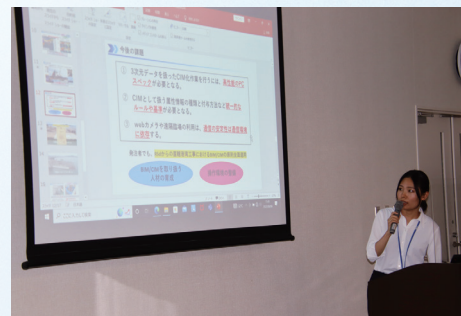
♪ 職員コラム：「管内技術・業務研究発表会」において、優秀賞を受賞しました！

4月から、新規採用で小松島港湾・空港整備事務所 工務課に参りました横山七海です。

名前にも「海」という文字が入っておりますが、小さい頃からよく家族で訪れた海や港に関わる仕事に携われることをとても嬉しく思っています。生まれは香川県で、今年徳島県に来たばかりですが、休日には海辺の散歩やドライブを楽しみ、地元とはひと味違った徳島県の魅力を堪能しています。

工務課では主に、港を整備する事業の予算管理を行っています。とはいえ、まだまだわからないことが多く、頼れる上司や優しい先輩職員に助けをいただきながら勉強勉強勉強の毎日です。8月には、毎年四国地方整備局主催で行われる「管内技術・業務研究発表会」において、令和3年度にi-construction大賞(優秀賞)を受賞した、金磯地区岸壁(-11m)改良工事におけるICTの取り組みについて発表し、優秀賞を受賞しました。発表に当たり、工事に関する基礎知識の勉強など大変なときもありましたが、頑張ったよかったと思えた瞬間でした。

これからも新しい業務にどんどん関わっていくこととなりますが、港の整備によって徳島県の安全安心を支えられるよう、何事も前向きな気持ちで一生懸命取り組んで参ります！



上司に見守られながら、ドキドキの発表中



事務所の皆様のご協力で、優秀賞を受賞！
左：横山、右：新見所長

♪ 今後のイベント案内

9月もやります！「みずき」一般公開！！

小松島市で開催される「絵本ワールド in こまつしま」に併せて、9/19(月・祝)10時～14時に「みずき」一般公開を開催する予定です。海上保安庁の巡視船「びざん」も同時公開！ぜひご家族そろってお越し下さいね。

絵本ワールドinこまつしま

2022年9月18日(日)・19日(月・祝)
10:00～16:00

主催

小松島市・絵本ワールド
inとくしま実行委員会

小松島市
ホームページ
QRコード



詳しくは小松島市ホームページをご覧ください▲

出前講座の申し込み受付中！

当事務所では、海と空の「みなと」のこと、また当事務所の仕事について、広く皆さんに知っていただくために、出前講座(みなと学習、環境学習、防災学習)を開講しています。楽しく学べる当事務所の出前講座、現場見学会のご依頼を受け付けています。



当事務所
TEL

出前講座、現場見学のお問い合わせは…

(0885)-32-3855

または ホームページ「暮らしを支える港湾と空港の話」
<http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
よりお問い合わせください。



事務所ホームページQRコード

発行／国土交通省 四国地方整備局 小松島港湾・空港整備事務所 企画調整担当
〒773-0001 小松島市小松島町字外開1-11 小松島みなと合同庁舎2階 TEL: (0885)-32-3855 FAX: (0885)-35-0010

URL <http://www.pa.skr.mlit.go.jp/komatsushima/>
E-mail pa.skr-kmj-m-i88s3@mlit.go.jp



地球に優しい大豆インキを使用しています。